

# 日本の大学図書館におけるマンガの所蔵状況

小山 信弥(慶應義塾大学大学院) shinya.koyama@z2.keio.jp

吉田 倫子(慶應義塾大学大学院) rinkokko@z8.keio.jp

吉井 潤(慶應義塾大学大学院) junyoshii531@a3.keio.jp

上田 晶子(慶應義塾大学大学院) aki-ueda@z5.keio.jp

安形 輝(亜細亜大学) agata@asia-u.ac.jp

## 1. 大学図書館におけるマンガ

日本のマンガ<sup>1)</sup>は“manga”という日本語が世界共通語として通用するほど、世界で注目されている日本独自の発展をたげたコンテンツである。マンガを研究対象とする学問はマンガ学だけではない。マンガは日本の大衆文化の一つであり、社会学や教育学など様々な人文科学研究の分野で社会と人間を考える際の学術資料として扱われ始めている。しかしながら、学術研究のための基盤整備、すなわち資料の収集・保存・整理が十分に行われているかは疑問である。

日本の大学図書館におけるマンガ所蔵の少なさについても指摘されている。例えば、江上(2008)は、北米最大のマンガ資料専門研究図書館<sup>2)</sup>を訪れた際、日本語コレクション専門司書の Maureen Donovan<sup>3)</sup>から受けた示唆を紹介している。Donovan は“ほとんどの日本の大学図書館・研究図書館がマンガを蔵書構築の中に有効に組み込んでいないことを危惧し、マンガやその関連書籍はすぐに絶版になることが多いが、マンガを原典や資料として活用するような世代は今後増えつつけるはずである。日本でも保存・収集の取り組みが必要なのではないか”と述べている<sup>4)</sup>。

また、早くからマンガを教科に取り入れ、2006年には日本で初めてのマンガ学部を創設した京都精華大学ですら、図書館(京都精華大学情報館)立ち上げ時にコミック2万冊を所蔵する際、「大学を遊園地化するつもりか」という厳しい声もあがり、必ずしも手をあげての賛成ではなかった。“(普通の)「大学図書館」に書籍の一部としてコミック本を取り入れるとしたら、大きな拒絶反応に出会うだろう…”と、当時の情報館長の牧野圭一氏が述懐している<sup>5)</sup>。

研究者や図書館員によるマンガ所蔵に関するこうした言及にも関わらず、その根拠となる

数値、すなわち「日本の大学図書館は実際のところ、マンガを何冊ぐらい所蔵しているのか」を大規模に調査した研究は見あたらない。

海外でも大学図書館におけるマンガの所蔵調査はほとんど行われてこなかった。米国の先行研究として、ペンシルバニア州立大学図書館の Masuchika ら(2010)による小規模な研究がある<sup>6)</sup>。この研究では、アメリカのマンガを意味する「グラフィックノベル」(graphic novels)と日本の「マンガ」(manga; 英語訳版も含む)の米国の大学図書館における所蔵状況を比較している。Masuchika らによれば、米国でもグラフィックノベルは研究ジャンルとしての地位を確立してきている。しかし、調査を行った44館において調査の対象とした29タイトル(グラフィックノベル12タイトル、マンガ17タイトル)の延べ所蔵数は250冊と、「マンガ」「グラフィックノベル」とも所蔵状況は多くはない。そのうち、調査数が17タイトルの「マンガ」の延べ所蔵数が71冊と、12タイトルの「グラフィックノベル」より所蔵冊数が少ない。

日本の大学図書館におけるマンガの大規模な所蔵調査を行うことで、その実態を明らかにすることが、本研究の目的である。

## 2. 調査手法

### 2.1 調査対象資料

調査対象とした資料は、国立国会図書館所蔵で(1)ISBNが付与されている、(2)請求記号がY84<sup>7)</sup>から始まる、(3)出版年が2011年までの資料とした。マンガには多くの場合、NDLCにY84が付与されているが、必ずしも全ての資料に付与されておらず、請求記号の方が網羅的である。実際にNDL-OPACでNDLCがY84であるものを検索した場合71,259件となるが、今回の調査対象は12万件を超える。そのため、マンガをNDLCではなく請求記号から判別している。調査対象資

料に関して2006年分までは国立国会図書館所蔵資料が収録されたJ-BISCからMARCデータを収集した。2007年以降2011年まではNDL-OPACにおいて請求記号による前方一致検索を行った。検索結果はMARC形式でダウンロードした。ISBNコードに基づいて重複除去を行った結果、調査対象資料の総数は121,552件となった。

## 2.2 調査対象資料の妥当性

調査対象資料の妥当性を既往調査と比較しながら検証する。Amazonを用いた2007年刊行のマンガのデータを収集した既往調査<sup>8)</sup>では8,209件であった。今回の調査対象資料は同じ2007年刊行のもので7,217件である。Amazonを出版流通全体だと見なすとカバー率は約88%となる。この値は国会図書館のサンプル調査<sup>9)</sup>での納本率とほぼ一致し、既往調査<sup>10)</sup>での所蔵率よりは少し高めである。つまり、今回の調査対象資料は出版されたマンガの9割近くをカバーしていると考えられる。

また、木川田らによる調査<sup>11)</sup>では、国立国会図書館のマンガについて、ポルノグラフィ分野は未納本率が約80%とされている。今回の調査対象資料でカバーできていないものは分野や流通が特殊なものであり、大学図書館の所蔵調査の対象から外して良いと考えた。

なお、マンガのISBN付与率についても今回のデータを用いて調査した。結果は1980年以降の国会図書館の請求記号がY84で始まる資料(マンガ)の96.2%にISBNが付与されていた。未付与のマンガはその多くが1980年代のものであった。

## 2.3 所蔵調査

調査対象資料に関して、ISBNを検索クエリとして国立情報学研究所のCiNii BooksのOpenURLを用いて検索し所蔵調査を行った。所蔵調査では単純な所蔵だけでなく、複本の数も調査した。具体的には一つの図書館が一つの資料に関して異なる登録番号(RGTN)を付与していた場合には複本として扱った。CiNii Booksではシリーズ物については所蔵がまとめられているため、以下の様な手順で巻数照合をしている。調査対象資料の書誌データから巻数の数字の抽出が可能な場合には数字を、数字の抽出ができない場合には巻数を示す文字列を抽出した。例えば、「第1巻」

であれば巻数は"1"とし、「上巻」であれば巻数はそのまま「上巻」とした。このような操作を行った理由は、例えばボクシングマンガで巻数が「Round 1」であったとき、書誌データの作成者により異なる表記となる可能性があるものを照合するためである。ただし、巻数照合に失敗するケースがあったため、一つの図書館で複本が多い資料に関しては所蔵データを人手で確認し、修正を行なった。

## 3. 調査結果

CiNii Booksを調査した結果、大学図書館のどこか1館でも所蔵していたマンガは10,190タイトルであり、全体に対するカバー率は8.4%となった。既往調査<sup>10)</sup>によれば大学図書館群のカバー率は出版物全体の58.9%であった。大学図書館において、マンガは他の資料タイプと比較して、極端に所蔵されない傾向にある。所蔵されているマンガの総冊数は複本も含め59,037冊であった。

以下では、マンガを所蔵する大学図書館、大学図書館に所蔵されるマンガの特徴、複本といった点から調査結果を提示する。

表1 マンガの所蔵が多い図書館上位10館

図書館名	冊数
九州大学 附属図書館 伊都図書館	2,652
国際日本文化研究センター	1,424
甲南女子大学 図書館	1,275
東海学園大学 図書館	1,044
ケルン日本文化会館	974
奈良女子大学 附属図書館	954
学習院大学 図書館	925
名古屋造形大学 図書館	823
バンコック日本文化センター	817
釧路公立大学 附属図書館	753

### 3.1 マンガを所蔵する大学図書館

図書を1冊以上登録しているNACSIS-CATの参加館1,499館<sup>12)</sup>のうちマンガを一冊でも所蔵していた図書館は1,116館(74.4%)である。そのうちの上位10館を表1に示す。九州大学附属図書館伊都図書館が最も多くのマンガを所蔵しており、2位の国際日本文化研究センターよりも千冊以上多い。また、上位には大学図書館だけではなく国際交流を目的とした独

表4 マンガの出版社の全体と所蔵の比較

順位	全体			大学図書館群で所蔵		
	出版社	タイトル数	割合	出版社	タイトル数	割合
1	小学館	20,008	16.5%	小学館	2,042	20.0%
2	講談社	19,906	16.4%	講談社	1,756	17.2%
3	集英社	16,791	13.8%	集英社	1,646	16.2%
4	秋田書店	9,089	7.5%	白泉社	433	4.2%
5	角川書店	4,865	4.0%	秋田書店	399	3.9%
6	白泉社	4,843	4.0%	角川書店	300	2.9%
7	日本文芸社	3,151	2.6%	朝日新聞社	173	1.7%
8	スクウェア・エニックス	1,904	1.6%	中央公論社	147	1.4%
9	実業之日本社	1,655	1.4%	朝日ソノラマ	125	1.2%
10	エニックス	1,393	1.1%	中央公論新社	121	1.2%
	その他	37,947	31.2%	その他	3,048	29.9%
	計	121,552	100.0%	計	10,190	100.0%

立行政法人の図書館が入っている。

### 3.2 大学図書館に所蔵されるマンガ

#### (1) 多く所蔵されるタイトル

CiNii Books の登録図書館で所蔵冊数の多いマンガの上位 20 位を表2に示す。この冊数には複本も含まれている。最も多く所蔵されていたマンガは小林よしのりの「ゴーマニズム宣言 戦争論」であり、複本を持つ図書館は3館であった。2位から15位には自閉症をテーマにした「光とともに」シリーズで占められていた。複本を除外したときに所蔵館数の多いマンガもほぼ同様の順位となっている。

表2 所蔵冊数が多いマンガ上位 20 位

順位	冊数	タイトル
1	219	ゴーマニズム宣言 戦争論
2	196	光とともに…第1巻 ～「光とともに」の他巻～
16	142	光とともに… 第15巻
17	137	夕凧の街桜の国
18	133	なぜ?なぜ?電気のはなし
19	130	凍りついた瞳
20	127	わが家の母はビョーキです

#### (2) 多く所蔵されるマンガの著者

多く所蔵されるマンガの著者を表3に示す。大学図書館群で所蔵されるマンガの約 1/10 が手塚治虫の描いたものである。なお、著者の識別は書誌データの画家の最初4文字を用いて行った。

#### (2) 出版社別タイトル所蔵率

大学図書館群が所蔵していたマンガの出版社を全体と比較したときのタイトル数と構成比

を表4に示す。上位3位の出版社は全体と所蔵で割合はほぼ一致しているが、4位以降では全体と所蔵で、少年マンガが中心の秋田書店と少女マンガが中心の白泉社の順位が逆転している。白泉社は秋田書店よりも幅広く資料選択がされている。

表3 多く所蔵されるマンガの著者

著者	タイトル数	所蔵冊数
手塚治虫	649	5,837
長谷川町子	114	4,089
戸部けいこ	15	2,729
小林よしのり	71	1,787
白土三平	116	1,442
山本おさむ	44	930
尾田栄一郎	65	856
水木しげる	120	834
佐藤秀峰	27	826
チャールズ・M.シュルツ	64	758

#### (3) 出版年別タイトル所蔵率

出版物全体と図書館所蔵の出版年別割合を算出した。全体ではマンガは右肩上がりに増加しているにも関わらず、所蔵は1995年を境にほぼ横ばい、あるいはやや減少気味となっている。

#### (4) 判型別タイトル所蔵率

所蔵されているマンガの判型は、全体と比較して、一般の少年マンガ、少女マンガでよく用いられる18～19cmの割合が少なくなり(69.2%→48.2%)、15～16cmという文庫判サイズの割合が多くなっている(13.4%→26.8%)。

### 3.3 マンガの複本

マンガの複本を持つ図書館は89館であった。

表4に上位 10 館を示す。

表4 複本冊数が多い図書館上位 10 館

図書館名	複本冊数
金城学院大学 図書館	31
学習院大学 図書館	30
関西学院大学 図書館	27
日本体育大学 図書館	23
大阪信愛女学院短期大学 図書館	18
奈良大学 図書館	16
宮崎学園 図書館	15
宮崎公立大学 附属図書館	15
金沢大学 附属図書館	14
京都外国語大学 付属図書館	13

いずれかの図書館で複本所蔵されているマンガは 284 冊であった。複本所蔵されることが多いマンガは、「光とともに」であり、第 1 巻は 6 館の図書館が複本を所蔵していた。単館の複本冊数が最大のマンガは、長谷川町子著、ジュールズ・ヤング訳「対訳サザエさん」シリーズで、金沢大学内に第 2 巻と他 2 巻が各 4 冊所蔵されていた。なお、配架場所は「図書館」「経」「自然図 2F 一般図書」「附属高等学校」とそれぞれ異なっていた。

#### 4. まとめ

本研究ではマンガに関する大学図書館を対象とした大規模な所蔵調査を行った。マンガは 74.4%と多く大学図書館が所蔵対象としている一方で、所蔵冊数は少なく、カバー率は他の資料タイプと比較して極端に少ないこと等が明らかとなった。

所蔵調査に総合目録である CiNii Books を用いたことで、未参加館や未登録データについては調査に含めることができなかった。今後は未参加館のうちいくつかの図書館を選定し、直接調査を行なう予定である。

#### 【注・引用文献】

1) マンガは漫画、まんが、コミック、劇画、MANGA、カートゥーンなど様々な表現があるが本研究では名称をマンガに統一する(1)。本研究ではその定義を「コマを構成単位とする物語進行のある絵」(2)によって表現された全ての印刷媒体とし、ストーリー漫画だけでなく、いわゆるエッセイ漫画(コミックエッセイ・エッセイコミック)や一コマ漫画、学習マンガなども含む。単なるイラスト

トレーションや絵画、一般的な絵本、紙芝居は含まない。この定義を行う際に参考にした文献を挙げておく。(1)『図書館情報ハンドブック』(1999) pp298-302(倉田敬子 2.12.8 コミック資料)、(2)『現代マンガの全体像』呉智英、1990、史輝出版

- 2) 現在はビリー・アイルランド・カートゥーン・ライブラリー&ミュージアムオハイオ州立大学に置かれている、北米最大級のマンガ資料専門研究図書館。日本のマンガの歴史・文化全体を概観できるような広範囲にわたる資料収集が行なわれている。
- 3) 現在は The Ohio State University Libraries の Japanese Studies Librarian & Professor。ドノヴァン氏による日本語による下記の論文は、マンガと大学図書館における数少ない日本の発表論文の一つである。ドノヴァン・モーリン、大学図書館におけるマンガ・コレクションの課題と視点、マンガ研究. vol6, 2004
- 4) 京都大学機構 ハーバード日記 司書がみたアメリカ 34 回 日本のマンガを保存する図書館 (2008.2.27) (<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/wordpress/index.php?p=61>) <accessed 2012.9.16>
- 5) 大学図書館へのマンガ、アニメ、ゲームの導入 牧野 圭一 大学時報. vol.49, no.275, 2000, p. 114-119
- 6) Masuchika, Glenn; Boldt, Gail. Japanese manga in translation and American graphic novels: A preliminary examination of the collections in 44 academic libraries. The Journal of Academic Librarianship. vol.36, no.6, 2010, p. 511-517.
- 7) Y84 は NDLC(<http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/y.pdf>)で「読物・漫画・雑著」に該当する分類記号
- 8) 大谷康晴ほか、公共図書館のヤングアダルトコーナーの蔵書構成:2007 年の出版物を対象とした調査. 2011 年日本図書館情報学会春季研究集会 発表要綱 p. 39-42
- 9) 国立国会図書館収集書誌部「国内出版物をどのくらい所蔵しているの? : 納入率調査結果から」『国立国会図書館月報』No.566, 2008, p.10-12.
- 10) 大場博幸ほか 3 名. 図書館はどのような本を所蔵しているか : 2006 年上半期総刊行書籍を対象とした包括的所蔵調査. 日本図書館情報学会誌. (掲載予定)
- 11) 木川田 朱美;辻 慶太. 国立国会図書館におけるポルノグラフィの納本状況. 図書館界. vol.61, no. 4, 2009, p.234-244
- 12) 2012 年 3 月 31 日現在の「参加館別所蔵登録累計件数一覧」に基づきカウントした。